

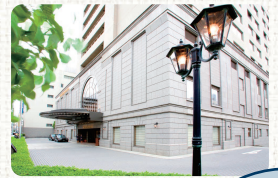
# ごみゅにけーしょん

みんなに話したくなる  
みんなと始める  
事業ごみ減量ニュースレター

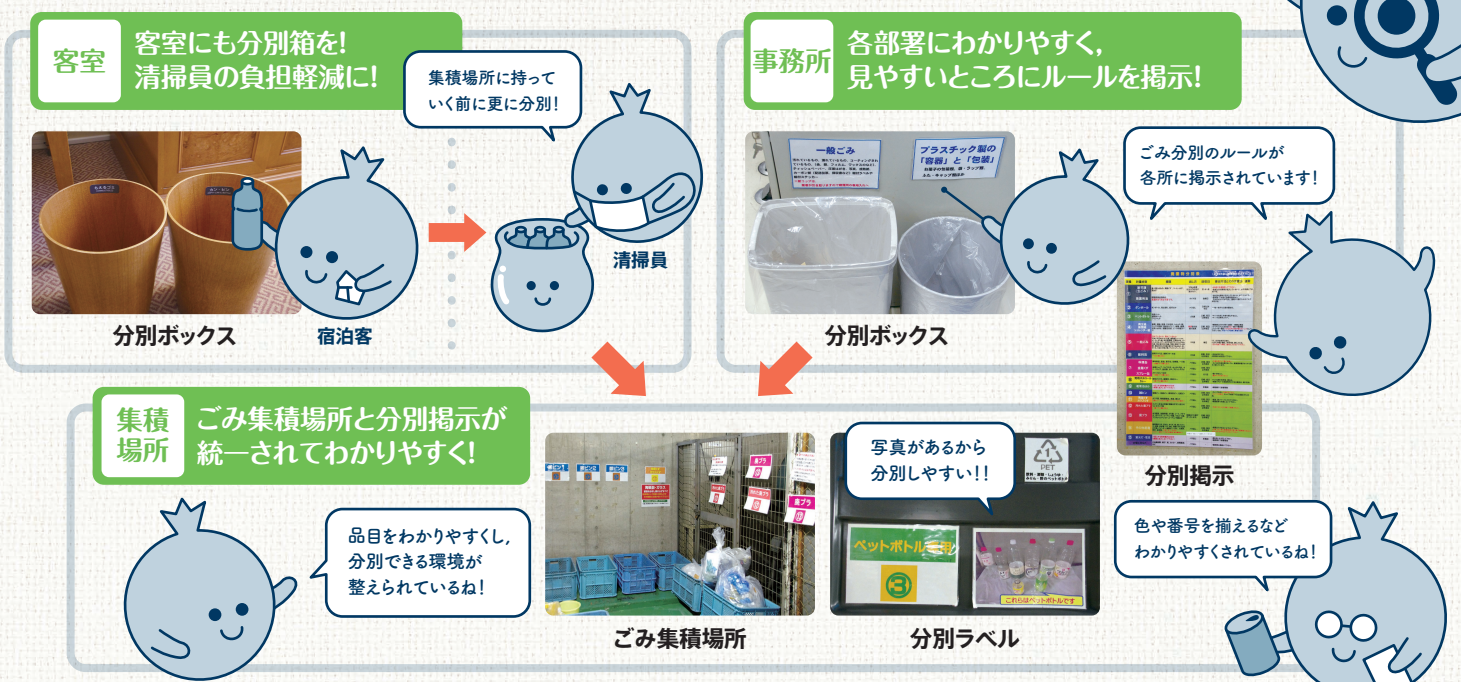
## 「見える化」に注目!~ホテルで進むごみ減量~

国内外から3年連続で5,500万人以上もの観光客が訪れる京都市。平成28年の調査によると、宿泊客数は過去最高の1,415万人(対前年比3.9%増)を更新しています。宿泊客増加の中、2Rの実践を進めて、ごみ減量に取り組むホテルを紹介します!

**今回のごみ減量の現場取材**  
**ホテル日航プリンセス京都**  
「心からの笑顔でのおもてなし」を基本理念とした「四条烏丸」にあるホテル。



### 分別の「見える化」 場所ごとに分別ボックスを設置。誰にでもわかる環境づくりがごみ減量の鍵!!



### ごみ量 (もしくは、データ)の「見える化」

- 各部署で集められたごみは、リサイクル等のため、18品目に分けられ、捨てる前に全て計測し記録されています。
- ごみ袋には全て部署名を記入するルールを徹底し、排出責任を明確化。混入物があれば排出者がわかるため、すぐに対応できます。
- 毎月の会議では、部署ごとのごみ量とリサイクルや廃棄に掛かる費用が共有され、定期的にごみ減量に関する取組を点検されています。



ごみの計測・記録



ごみ排出者の明示



ホテルの担当者から一言  
「見える化」による成果を実感!



「見える化」に取り組むことで、ごみ量やリサイクル量などがわかり、社員のやる気にもつながります。多い時は、前年比4割減になった月もあり、成果を実感しています。ごみの減量は社会貢献の一つ。事実とデータを検証し、ごみを減らせるよう、取り組んでいます。

ごみ削減に役立つ豆知識  
ごみゅにけーしょん Q&A

Q: 事業ごみとして捨てられている生ごみのうち、手つかず食品はどのくらい?

① 3% ② 13% ③ 23%





# ごみの分別周知はできていますか？

みなさんの事業所では、ごみの分別をどのように周知されていますか？

“へらす”“わかる”でごみ減量と資源の有効活用を進めましょう！

## ① 分別回収箱の工夫

分別回収箱の設置場所に混入しやすいものの写真を掲示するなど、誰もがわかりやすくなるよう工夫しましょう。

イラスト入りの分別表示は「京都ごみネット」でダウンロードできます。



わかりやすく工夫！

## ② 研修や会議などでルール周知

ごみ分別について、研修や講習、会議などでもルールを周知する機会を作りましょう。

本市職員が出向いて説明を行う「京都市政出前トーク」も活用できます。



ごみ分別の研修などを行おう！

## ③ 混入物などの情報共有

実際にあった混入物や、社員の方からの問い合わせ内容などをメールや回覧で共有しましょう。



分別できてなかった！

## TOPICS

ごみ減量に取り組む事業者を表彰  
平成29年度優良事業所を認定



平成29年度優良事業所のみなさん

ごみの減量や分別に取り組む19事業所を「2R及び分別・リサイクル活動優良事業所」として認定し、特に優れた2Rに取り組む4事業所を「2R特別優良事業所」として認定しました。優良事業所に情報提供いただいた取組事例は「京都ごみネット」で紹介しています。

京都市ごみ減量・分別リサイクル総合情報サイト  
**京都ごみネット**  
<http://kyoto-kogomi.net>

優良事業所を目指してみませんか？

事業用大規模建築物等を対象に優良事業所認定制度を設け、毎年4月1日～5月31日に申請を受け付けています。詳しくは、こちらをご覧ください。



村井琢哉さん

特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば理事長。

山科・醍醐地域で、地域の子どものよりよい豊かな育ちの環境づくりを子どもや地域の方々とともに取り組んでいます。

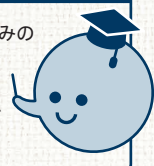
食を通じた交流で「ごみ」について考える  
村井琢哉 特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば  
全国で子ども食堂という活動が増えています。活動のカタチは地域によって多彩ですが、子どもと地域のおとなが食事を通じて交流するものです。頻度や規模も様々ですが、全国1000カ所ぐらゐの実践が行われています。それらの活動は、まだ食べることができないのに廃棄にまわってしまう食材やお寺などのお供え物のお下がりを分かち合うことで支えられています。私が活動をする山科・醍醐地域でも、このような食を通じた交流の場は多く開催されています。そのなかの一つでは、食材の有効活用はもちろんです。数十人規模になる活動で使い捨て食器を使うとごみが多く出てという声からリユース食器の活用にも取り組んでいます。子どもとおとなの交流の場を通じ、地域のボランティア、食材の分かち合い、そしてごみを減らす取り組みを子どもたちが体感することができています。与えられる学習の機会以上にこのような体験が、子どもが地域のことはもちろん環境について、ごみについてなど考える良い機会になっているのではないかと感じています。

京の知恵  
COLUMN

ごみ減量にまつわる知恵を  
京都で活躍する人や企業がコラムで紹介！

## ごみゅにけーしょんQ&Aの答え：③ 23%

平成28年度に事業所から排出された生ごみは73千トンで、事業ごみの43.0%を占めています。そのうち、手つかず食品は23%の16.8千トンとなっており、その他の食品ロスとあわせると35.7千トンもの食べられるはずの食品が捨てられていることに、あなたの事業所ではどうですか？廃棄、食べ残しゼロへ、取り組みを進めましょう！



## 事業ごみ収集のご相談は京都環境事業協同組合まで

「京都市推奨事業系ごみ袋(透明袋)」も販売されています！

★ごみ袋の売上げの一部は市内児童養護施設等に寄付されています！

相談  
窓口

Tel. 075-691-5517

受付時間 月～金 13:00～17:00

お問合せは  
お気軽に！



※この印刷物は、不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルできます。

発行：京都市環境政策局ごみ減量推進課

京都市中京区河原町通二条下る一之船入町384番地 ヤサカ河原町ビル8階

TEL：075-213-4930 FAX：075-213-0453

下記ホームページに一般廃棄物収集運搬業者の連絡先・PR内容を掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000001025.html>

